

WTC購入はいまからでも中止し

くらし・営業応援を

いま、消費の冷え込みがきびしく、「ものが売れずに商売もやっていけない」と大阪じゅうで悲鳴が上がっています。

こんなときに大阪府は、府議会で2度も「府庁移転条例案」が否決されたにもかかわらず、耐震改修費用もふくめれば114億円もするWTCを購入しようとしています。購入すれば、465億円もの維持管理費も今後32年間で必要です。

なぜ橋下知事はここまでWTCにこだわるのでしょうか。

利便・コスト・防災… WTC移転は最悪の選択

官庁などがあつまる現在の場所から大阪湾の埋め立て地「咲洲」に建つWTCへ府庁が移転すると、はるかに不便になります。

コスト面でも、現庁舎を耐震補強するよりも高くなることを、知事自身みとめています。

さらに、地震などでトンネルや橋が通行できなくなれば“陸の孤島”となります。

WTCの購入は、いまからでもやめるべきです。

ねらいは失敗した 開発のむしかえし

WTC周辺には、住友や伊藤忠など大企業が所有したままの土地が残っています。

知事がWTC移転にこだわるのは、破たんした大阪湾岸の巨大開発を府民の税金をつぎ込んで再スタートさせろという財界の要求にこたえるためです。

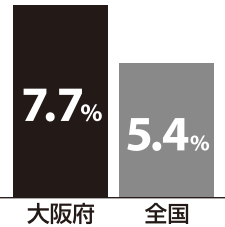
中小業者と 府民のくらし応援に 府政のかじをきりかえよう

いま大阪府に求められるのは、府民生活応援に全力をあげることです。

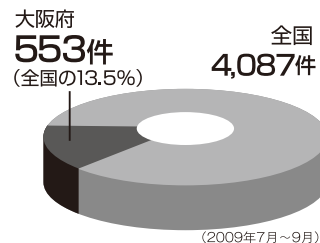
経済対策でも、企業誘致最優先や法人税減税など行きすぎた大企業優遇をあらため、大阪経済をささえてきた中小業者の活性化や雇用を守ることに軸足をうつすことが大事です。

府民のくらしは“非常事態”

完全失業率



倒産件数



大阪府・大阪市が進めた 主な大型開発の大失敗

大阪市分

テクノポート大阪計画

(国際情報都市と昼間人口20万人の新都心計画)

基本計画(1988年)の事業費は約2兆2000億円。公共9300億円、民間3000億円投入し大失敗。2008年9月に大阪市が「終結宣言」。

進められた主な事例

WTC(ワールドトレードセンター) りんくうゲートタワービルと高さを競い当初150mを256mに変更。事業費が1193億円に膨れ上がり、市の部局を入居させ資金支援をしたが破たん。

ATC(アジア太平洋トレードセンター) 輸出入会社の入居が少なく、金融機関に債権放棄をさせ経営しているが、退店が続けば破たんに。

ふれあい港館 78億円で建設。ワインミュージアムとしてワインを購入するも利用が少なく閉鎖。ワインも競売に。

テクノポート線 咲洲から此花区の新桜島駅(仮称)まで7.5kmの地下鉄計画。444億円を投資するが夢咲トンネルに線路部分だけをつくり09年11月休止に。

スーパー中樞港湾 国際ハブ港として5万トン以上のコンテナ船に対応するとして夢洲に深さ15mの埠頭を3つ建設(770億円)。しかし大型船は減少。

USJ周辺地区画整理事業 USJ北側駐車場が未売却で赤字が650億円。大阪府は平成47年まで赤字穴埋めの支援をする事に。

大阪府分

りんくうタウン 事業費6058億円で関西空港対岸部に造成するも、企業進出が進まず、最終収支見込みは1561億円の赤字に。

ゲートタワービル りんくうタウンに立つ西日本一(当時の)超高層ビル。府が出資金255億円などをつぎ込むが、わずか8年で破たんし、民間に44億円で売却。

泉佐野コスモポリス 泉佐野市の丘陵部にハイテク工業団地用地を造成。しかし企業誘致は失敗し88年破たん。結果、府は用地買戻しなどで232億円を負担。

箕面森町 箕面の山を削り住宅地を造成。全区画を売却しても605億円の赤字が予想される事態に。

関西空港2期事業 事業費1兆4200億円。09年2月現在、府の出資金合計は1001億円。今後の負担は約160億円にのぼる見込み。